

森湯谷のエドヒガン（広島県指定）

所在地：庄原市東城町森 520-1

指定年月日：平成 6 年 2 月 28 日

所有者：八幡会

根回り周囲：6.00m

目通り幹囲：5.06m

枝張り：東 10.0m 西 12.0m

南 9.0m 北 15.0m

樹高：約 32m

エドヒガン（ウバヒガン、アズマヒガンとも呼ばれる）は、本州・四国・九州・朝鮮半島及び中国大陸に分布する。花は葉が出るまえに咲き、花柄やがくに毛が多い。

本樹は広島県内では、総領町の「下領家のエドヒガン（広島県指定：胸高幹囲 6.4m）」、「小奴可の要害桜（広島県指定：胸高幹囲 5.7m）」に次ぐ第三位の巨樹である。胸高幹囲 4.5m を超えるエドヒガンは、全国的にもあまり多くないので貴重である。

東城町内には、東城三大桜「森湯谷のエドヒガン」、「小奴可の要害桜」「千鳥別尺のヤマザクラ」（いずれも広島県指定天然記念物）が所在し、多くの人々に親しまれている。

